

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 結核 225 例
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 165 例 (うち有症者 112 例, うち HUS 2 例) [感染地域: 国内 164 例, 韓国 1 例] 国内の多い感染地域: 宮崎県 27 例*, 東京都 15 例, 大阪府 13 例, 福岡県 10 例 *うち 23 例は保育園に関連した集団発生 年齢群: 10 歳未満 (75 例), 10 代 (20 例), 20 代 (22 例), 30 代 (15 例), 40 代 (8 例), 50 代 (8 例), 60 代 (5 例), 70 歳以上 (12 例) 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2 (84 例), O157 VT2 (26 例), O111 VT1 (23 例), O26 VT1 (13 例), O157 VT1 (4 例), O121 VT2 (3 例), O63 VT2 (1 例), O74 VT1 (1 例), O91 VT1 (1 例), O111 VT1・VT2 (1 例), O165 VT2 (1 例), その他/不明 (7 例), 腸チフス 1 例 (感染地域: フィリピン)
- 4 類感染症: E 型肝炎 1 例 (感染地域: インド/タイ, 感染源: 不明), A 型肝炎 2 例 (感染地域: 静岡県 1 例, 福岡県 1 例), オウム病 1 例 (感染地域: 愛媛県, 感染源: 野バト), つつが虫病 1 例 (感染地域: 長崎県), ライム病 1 例 (感染地域: 米国), レジオネラ症 25 例 (肺炎型 24 例, ボンティアック型 1 例) [年齢群: 2 歳 1 例, 40 代 2 例, 50 代 7 例, 60 代 10 例, 70 代 2 例, 80 代 3 例] 感染地域: 神奈川県 3 例, 宮城県 2 例, 東京都 2 例, 大分県 2 例, 北海道 1 例, 栃木県 1 例 (温泉), 茨城県 1 例, 群馬県 1 例, 富山県 1 例, 山梨県 1 例, 岐阜県 1 例, 山口県 1 例, 徳島県 1 例, 香川県 1 例, 佐賀県 1 例, 長崎県 1 例, 鹿児島県 1 例, 国内 (都道府県不明) 2 例 (うち温泉 1 例), 愛知県/シンガポール 1 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 14 例 (腸管アメーバ症 12 例, 腸管外アメーバ症 2 例) [感染地域: 国内 11 例, 中国 2 例, 台湾/韓国/タイ 1 例] 感染経路: 経口 4 例, 性的接触 4 例 (異性間 1 例, 同性間 3 例), 不明 6 例, ウイルス性肝炎 6 例 (すべて B 型, 感染経路: 性的接触 5 例 (すべて異性間), 不明 1 例), 急性脳炎 1 例 (単純ヘルペスウイルス, 20 代), クロイツフェルト・ヤコブ病 3 例 (孤発性プリオン病古典型 2 例, 孤発性プリオン病その他 1 例), 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 例 (10 代, 40 代), 後天性免疫不全症候群 8 例 (AIDS 3 例, 無症候 4 例, その他 1 例) [感染地域: 国内 7 例, 不明 1 例] 感染経路: 性的接触 6 例 (異性間 2 例, 同性間 3 例, 異性間・同性間 1 例), 不明 2 例, シアルジア症 1 例 (感染地域: ブラジル), 梅毒 9 例 (早期顕症 I 期 3 例, 早期顕症 II 期 4 例, 晩期顕症 1 例, 無症候 1 例), 破傷風 5 例 (すべて 60 代)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は減少したが, 過去 5 年間の同時期 (前週, 当該週, 後週) と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県 (8.22)、宮崎県 (0.25)、宮城県 (0.08) が多い。
 小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 151 例の報告があり, 報告数は増加した。年齢別では, 1 歳以下の報告数が全体の約 77% を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では長野県 (1.49)、高知県 (1.10)、広島県 (0.85)、石川県 (0.79) が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第 23 週以降減少が続いているが, 過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では鳥取県 (1.68)、茨城県 (1.67)、埼玉県 (1.61)、富山県 (1.59) が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第 21 週以降減少が続いているが, 過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では大分県 (6.9)、宮崎県 (5.7)、福井県 (5.4)、島根県 (5.2) が多い。水痘の定点当たり報告数は第 25 週以降減少が続いている。都道府県別では宮城県 (1.55)、福島県 (1.29)、北海道 (1.27)、福岡県 (1.23) が多い。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では和歌山県 (11.3)、福島県 (5.8)、千葉県 (4.2)、山形県 (4.1) が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少したが, 過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では長野県 (2.5)、新潟県 (1.6)、宮城県 (1.5)、福井県 (1.1) が多い。百日咳の定点当たり報告数は 2 週連続で増加し, 過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では千葉県 (0.09)、福岡県 (0.08)、栃木県 (0.06)、和歌山県 (0.06) が多い。風しんの報告数は 11 例と増加した。都道府県別では茨城県、千葉県、奈良県から各 2 例、埼玉県、東京都、神奈川県、岐阜県、大阪府から各 1 例の順であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少したが, 過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では宮崎県 (7.0)、大分県 (6.6)、三重県 (6.0)、新潟県 (5.9) が多い。風しんの報告数は減少し, 14 都道府県から 53 例の報告があった。都道府県別では福岡県 22 例、神奈川県 11 例、北海道 4 例、秋田県 3 例、宮城県、大阪府、広島県から各 2 例の順であった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮崎県 (1.03)、新潟県 (0.97)、岩手県 (0.95) が多い。
 基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県 (2.3)、群馬県 (1.4)、福島県 (1.3) が多い。成人麻しんの報告数は減少し, 11 都道府県から 20 例の報告があった。都道府県別では北海道 4 例、東京都、福岡県から各 3 例、宮城県、山形県から各 2 例、神奈川県、福井県、大阪府、広島県、佐賀県、大分県から各 1 例の順であった。

1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点								
	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん	
(定点当たり)																						
愛媛県		.3	.9	3.3	.6	.6	.5	1.2			4.1		.9		2.0				.2			
近県	香川県	.0	.3	1.4	2.9	.4	.1	.6	.6		2.8		.3									
	徳島県		.2	.2	2.8	.6	.9	.2	.4		4.3		.0									
	高知県		1.1	.4	1.9	.8	1.0	.8	.9		4.3		.8		.7							
全国	.1	.4	1.0	3.0	.8	1.7	.5	.7	.0	.0	3.7	.0	.4	.0	.8	.0	.0	.3	.0	.0	.0	
北海道	.1	.6	1.5	1.7	1.3	2.2	1.0	.6	.0	.0	1.0	.0	.1	.8				.0	.5	.0	.2	
東北	.1	.4	.9	2.1	1.1	2.8	.8	.8	.0	.0	2.4	.0	.6	.0	.7			.0	.3	.0	.1	
関東	.0	.4	1.1	3.0	.9	2.1	.5	.7	.0	.0	4.6	.0	.3	.0	1.1	.0	.1	.3	.0	.1	.1	
甲信越北陸	.0	.7	1.0	2.8	.9	1.7	1.4	.6	.0	.0	4.8	.0	.4	.5	.0	.0	.0	.2	.1	.0	.0	
東海	.0	.3	1.1	3.0	.8	1.0	.4	.7	.0	.0	3.9	.0	.4	.3	.1	.1	.4	.4	.0	.0	.0	
近畿	.0	.4	.8	3.1	.6	1.5	.4	.7	.0	.0	4.1	.0	.5	.0	.3	.0	.0	.2	.0	.0	.0	
中国四国	.0	.5	.9	3.5	.7	.7	.4	.8	.0	.0	2.9	.0	.4	1.1				.3	.0	.0	.0	
九州沖縄	.8	.4	.8	3.9	.8	2.2	.2	1.0	.0	.0	3.1	.1	.5	.0	1.1	.0	.0	.3	.0	.0	.1	

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。 (8月8日集計) 愛媛県基幹感染症情報センター

全国 全数把握感染症 第31週 (2007.7.30 ~ 8.5)

類 型	二類	三類感染症					四類感染症														五類感染症																			
		(2)結核	(1)コレラ	(2)細菌性赤痢	(3)腸管出血性大腸菌感染症	(4)腸チフス	(5)パラチフス	(1)E型肝炎	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(10)Q熱	(12)コクシジオイデス症	(18)つつが虫病	(19)デング熱	(23)日本紅斑熱	(24)日本脳炎	(28)ブルセラ症	(30)発疹チフス	(32)ポツリヌス症	(33)マラリア	(35)ライム病	(39)レジオネラ症	(40)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)ドブ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
第31週報告数	全 国	225			165	1		1	2		1			1								1	25		14	6	1		3	2	8	1			9	5				
	四 国	愛 媛 県	4			4					1																													
		香 川 県																						1																
		徳 島 県	2			2																		1																
		高 知 県	6																																				1	
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	3			1																		1		2														
		東 北 道	19			16																								2			1							
		関 東 圏	66			39	1		1														1	7		10	1		1		1	6				5	3			
		甲信越北陸	17			15																						1												
		東 海 道	35			12				1																		1												
		近 畿 圏	25			25																					2	2	1											
中国四国		24			16						1													3			1												1	
九州沖縄	36			41				1						1									6																1	
週 推 移	全 国	31週	225			165	1		1	2				1								1	25		14	6	1		3	2	8	1			9	5				
		30週	230	1	6	176		1		3					4	1					1	15			3	1	1		1	1	4				6	1				
		29週	204		11	118									1	2	2					1	18			6	3	1		2		14				9	1		2	
		28週	261		8	165	1			3					1	4	3					1	12			8	5	3		2		18				13				
2007年累積数	全 国	6764	9	287	1946	21	9	35	100	10	22	3	3	93	41	25	1	1		2	27	3	353	6	461	135	142	4	96	62	838	30	11		381	58		41		
	四 国	愛 媛 県	124		3	16				1	1						2							3		2	1	1		5		4				5				
		香 川 県	39		1	2				1			3											1		1	1	1			1	3				3				
		徳 島 県	71			9																		2								1	1							
		高 知 県	58			3				1																1	5			4	1	2				2	1			
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	213		2	26	1		6	6	7	1										1	1	16		13	5	3		2	5	10				7	2		1	
		東 北 道	410	2	9	105	3	1	2	10		3			38	1						2		26		24	8	10		4	5	30		2		18	6		3	
		関 東 圏	1743	4	140	673	7	5	7	29	3	7			8	18	1						17	2	103	2	204	40	43	1	26	21	421	19	3		145	19		23
		甲信越北陸	435		11	206	1	1	1	5					9	1								37	1	16	8	9	1	8	4	20	2			16	4		3	
		東 海 道	1086		36	97	3		14	10		3			4	4	3						1	55		51	8	4		10	5	127	2	1		65	3		6	
近 畿 圏		1078	3	58	303	6	2	3	19		5			10	9	5		1				7	52		101	33	32		20	6	148	5	2		30	6		4		
中国四国	755		24	168			1	9		2	3		6	2	7	1					1	31		20	24	13	1	16	9	27	2			25	1					
九州沖縄	1044		7	368			1	12		1				18	6	9							33	3	32	9	28	1	10	7	55		3		75	17		1		

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。
 ・2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。